

水みらいプロジェクト2003～シンポジウム～



神通川上流から下流までのつながりを体験。

## 富山市立 岩瀬小学校

学 校 長：齊藤 昭先生

指 導 教 諭：西方 正敏先生

発 表 児 童：5年松組（28名）

富山市の北部に位置し、北は富山湾、西は神通川を境界とする校区には、港・運河・工場地域・海浜地域があります。

勇壮な曳山車祭り・北前船の森家など、昔からの伝統的な文化財が継承され、歴史的な遺産も数多く残されています。

児童数は190名余りと少なくなりましたが、伝統の浜っ子気質はしっかりと受け継がれ、今夏新しく建ったばかりの校舎で、元気いっぱい学校生活を送っています。



### ■ 発表テーマ ■

## 川の力〈環境編〉

理科と総合的な学習の時間で学習してきたことを発表。内容は、ホタルの放流、ホタル観賞会、神通川の源流にある岐阜県宮小学校との交流、理科学習「川の力」で川がもたらす恵み（動植物とのかかわり）や水害について多角的に調べたこと、総合的な学習「水生生物調査」「岩瀬浜漂着物調査」で調べたことなど。

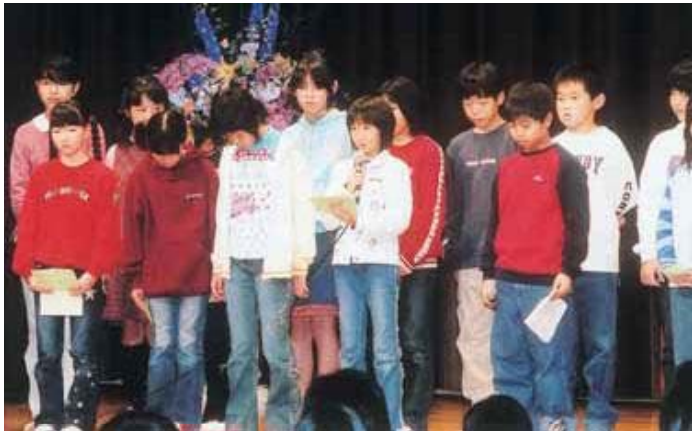
### 西 方 先 生 よ り

自然の大きさを知り、自然の中から、体験を通して、学ぶ楽しさを味わいました。

理科学習からつながる総合的な学習として、様々な角度から子供たちは学習しました。すべての生き物にとって、川はなくてはならない自然の恵みです。子供たちは、体験を通して、その大切さを感じ取ったことでしょう。

子供たちの発表にもあったように、人類が地球を傷つけるようなことをしたのは、つい最近のことです。地球規模の環境問題に対して、私たちは無力のように見えますが、それでも、講演で聞いたように、みんなの力を合わせ、努力を続けることです。

大人の意識を変えるのは難しいでしょうが、少なくとも、今回のプロジェクトに参加した子供たちは大丈夫。地球の未来は明るいと信じています。



▲松組28名のみんでハツラツと発表しました。



▲セリフを忘れずに頑張ったね。



▲とても迫力あるステージでした。



▲最後はみんなで元気に合唱。



## 学習テーマの設定

環境について一人でも多くの人に伝えたい。

北は富山湾、西は神通川に隣接する、岩瀬小学校。今回の観察や研究を通じて環境に対する気持ちに大きな成長がみられました。



神通川の源流から下流までのダイナミックなスケールでの体験が、大人になったとき、きっと役に立ち明るい未来を切り開いてくれるでしょう。

## 学習の展開

神通川源流と河口の交流。はじまりとおわりでお互いの水環境について、情報交換や親睦を深めました。いままで、気づかなかったことにお互い大きな収穫がありました。



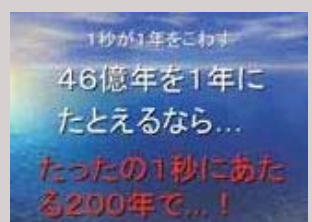
生物調査で汚れを研究。みんなで川に入り、いろんな生物を観察したね。ヤマトビゲラやヒラタカゲロウ、ヘビトンボなど、きれいな水に住む生物を発見。

みんなで結果をまとめる。クラスみんなで調査した結果をまとめて分析。いろんな魚や鳥たちが、川にあつまりまだまだきれいな神通川だったね。



富山湾のゴミにビックリ。燃えないゴミが海岸にいっぱい、とくに自然にもどらないゴミが目立ったね。海外からの漂着ゴミも中にはあったね、日本だけの問題じゃなく世界的な問題なんだね。

たった1秒で自然を破壊する人類。地球の歴史46億年を1年にたとえたら、たった1秒が200年。近代文化の影響は確実に自然破壊に結びついています。



## 考えたこと・感じたこと

### 人類が地球と仲良く暮らすために、考えました。

地球の歴史を1年にたとえると、人類が生まれてから7時間。すごく短いものということがわかりました。まだまだ地球と仲良く暮らせるはず。また上流の宮小学校のみんなとも交流を行い、今まで気づかなかったことがたくさんあり、とても感動しました。これからも神通川下流の僕たち、私たちが「水の環境」をまもるためにできることを実行していきます。

僕たち、私たちができることから始めていきます。

- ・ ゴミ拾いなどのボランティアに参加。
- ・ 食べ物をそまつにしない。
- ・ ゴミをポイ捨てしない。
- ・ 紙を大切に使いたい。
- ・ 車に乗らないようにする。
- ・ 家庭排水に気をつける。
- ・ ムダなエネルギーを使わない。

